

①個別データシート

種類 エネルギー

英名 Briquettes and briquette balls

整理番号: JP111036

分類 石油製品・石炭製品

和名 練炭・豆炭の業務用コンロ等での燃焼

・GHG排出量 2.08E-01 kg-CO₂e/MJ

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 練炭・豆炭の燃焼に伴う排出

・技術の内容と機能 (石炭採掘～練炭)～燃焼

・情報源 練炭、豆炭の業務用こんろ・湯沸器・ストーブ等での燃焼

財団法人 石油産業活性化センター:“石油、LNG及び石炭のLCA手法による比較に関する調査報告書”,(1999)
独立行政法人経済産業研究所,“総合エネルギー統計の解説/ 2007年度改訂版”,(2009)
環境省・経済産業省,“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.0”,(2010)
環境省,“平成13年度大気環境に係る固定発生源状況調査”,(2003)

・データ作成者コメント

練炭、豆炭の燃焼に伴う大気圏排出物を温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、業務用こんろ、湯沸器、ストーブ等のCH₄、N₂Oを適用。

・適用範囲

温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアルの業務用こんろ、湯沸器、ストーブ等のCH₄、N₂Oを適用して、練炭、豆炭の燃焼に伴う大気圏排出物を算出したものである。

・システム境界

資源採取から練炭・豆炭の製造を経て、業務用コンロ等での燃焼までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、練炭・豆炭(練炭、豆炭)由来のCO₂(化石資源由来)、当該燃焼由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
資源/原材料	中間フロー	入力	練炭、豆炭	練炭・豆炭	4.18E-02	kg	練炭豆炭の発熱量23.9MJ/kg
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2		6.85E-02	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	N2O		1.30E-06	kg	GHGマニュアルによる
大気圏排出物	基本フロー	出力	CH4		2.90E-04	kg	GHGマニュアルによる
製品	中間フロー	出力	燃焼・練炭、豆炭	燃焼・練炭、豆炭	JP111036	1.00E+00	MJ